

「座間讃歌」～見えないモノが見える街 座間～

作詩 大島尚志

プロローグ 座間の湧き水～風と大風～古道～ひまわり～見えない富士山

朝陽が昇る ほんのり赤らむ大山

なんと尊く神々しいことか

束の間の時と自然が織りなす悠久なる美の世界

遙か「いさま」の時より阿夫利嶺(あぶりね) 大山に見守られたる里・座間

我が故郷(ふるさと) 見えないモノが見える街

座間の里に水が湧く

祈りの水 命の水

幾重もの時の流れ 人の営み積み重ね

座間に出(い)では

授かりの水 潤いの水

見えない水脈 出会うは豊かな湧き水

青空に大風が舞う 吹き渡る見えない風に舞う

座間の風 幸せ運ぶ風 厄(わざわい)払う風

太古からの贈り物

縁(えにし)の風 励まし風

見えない風道(かざみち) 出会うは希望の大風

我が故郷(ふるさと)

見えないモノが見える街

座間の古き道

今に隠れし古道(こうどう)を歩いて「らん

賑やかな古人(いにしえびと)の声(こゑ)が聞こえる

笑顔で挨拶してくれる…

かも知れませんが！

座間に咲く向日葵

日の光求めて咲く花

人の心に潜む情熱と哀愁 見せてくれる花

座間の真夏に咲き誇る

太陽の花

朝陽に光る大山仰げば

向こうにそびえ立つ

見えないはずの富士山までもが見えてくる

不思議な感覚 日常の歓び

我が故郷(ふるさと)

見えないモノが見える街

第1章「古道」

車 車 車が行き交う幹線道路

子供の声が響く通学路

今が息づく道 道道

かつては活気がありました

商人の道 旅人の道 軍人の靴音(くつおと)響く道

信仰支えた祈りの道もありました。
時代を写す道 道道

古道 今(いま)はどれも隠れし古道

今(いま)が時代の通学路 幹線道路も

やがては古道となるのだろうか

信号を待ちながら

思いを巡らせて「らん！

昔(むかし)と大昔(おほむかし) 近い未来(みらい)と遠い未来(とほむかし)

私(わたし)たちも いずれ古人(いにしえびと)になるのだから

第2章「雛人形」

鎮守(ちんじゆ)の杜(と)を彩(いろど)る緋毛氈(ひもうせん)

ならんだ 並んだ雛人形

夜の闇(よる) 人の賑(にぎ)わいさめた頃

どこからともなくヒソヒソ話

「ここでヒソヒソ あそこでヒソヒソ

年に一度の大集会

元禄雛(げんろくひな)が笑えば 明治(めいじ)の雛(ひな)のむせび声

大正雛(たいしやうひな)が告白(こゝろ)すれば

昭和(しやうわ) 平成(へいせい) 令和(れいわ)の雛(ひな)まで割り込んで

苦(くる)労(らう)話(わ)し 感動(かんとく)秘話(ひわ)に花(はな)が咲く

時空(じくう)を越(こ)えた雛(ひな)の女子会(こゝろ) 大騒(おほさわ)ぎ

静(しず)まりかえつた月夜(つきよ)の晩(ばん)は五人囃子(ごにんばやし)の笛太鼓(ふエ太鼓)

月の光(つき)に誘(よ)われて 祝(いわ)いおどり雛(ひな)おどり

春(はる)の宵(よ) 鎮守(ちんじゆ)の杜(と)はまほろば 幻想(こうそう)世界

今(いま)も昔(むかし)も わらべ愛(め)でたる雛(ひな)祭り

第3章 「風の吹く里」

風よ吹け 百畳敷きの大風 舞い上がり

風よ吹け 端午の節句 子供の幸せ天まで届け

江戸の昔から親の願いはただ一つ

もしや縄文人(ひと)だって

風よ吹け 相模野台地を吹き抜ける

風よ吹け 災い払え 幸をもたらせ今日(きょう)の日に

阿夫利の山も高見の見物しているぞ！

疫病 はやりしその昔

飯綱権現さまの化身

「いさま」の風に誘われて

信濃の国よりやって来た

化身の老人示すは御神水(ごしんすい) たちまち疫病退散

不思議な霊の力呼び寄せた

今も吹く風 座間の風

風よ吹け 見えぬ霊力 救いの風よ！

風よ吹け 託する大風 願いの風よ！

風よ吹け 今も昔も 希望の風よ！

座間の風 お前と今日(きょう)も出会いたい！

第4章 「ひまわり」

どの街にもお似合いな花がある

座間には ひまわり

大地に太陽もたらず花

大地を金色に輝かす花

座間の ひまわり

見えない日の光

太陽求める ひまわり 見ていると

何故か生きる力が見えて来る

座間の ひまわり

時に私たちを 絵描きに 写真家に

詩人にだっしてしまふ

座間の ひまわり

太陽の花

愛や憧れ 希望を呼び起(こ)す いいえ

悲哀 偽り 絶望すら包みこんでくれる

情熱の花

大切なあなたと見に行(ゆ)きたい！

座間の ひまわり

第5章 「挑め 羽ばたけ！」

【ダンス】

若き力よ！

迫る苦難をはね除けるのです。自らの力を信じて！

挑め 羽ばたけ 立ち上がれ！

さあ、仲間と力合わせろ！

持てる力を信じて。

【ダンス】

第6章 「水の湧く里」

蛇口を捻ると、いいえ、今や手をかざしただけで水が出てきます。

コンビニやスーパーには、一年中冷えたペットボトルの水が溢れています。皆さんは気付いていますか？

ロケットが宇宙を行き交うこの21世紀でも、たいせつな大切な飲み水を作り出せない私たち！

雨よ降れ 雨よ降れ 台地潤す雨よ降れ！

阿夫利嶺 大山は長い間「あめふり山」雨乞い信仰の霊山でした。

そして我が街 座間は水の街。縄文時代から地下の深水(ふかみず)、奥多摩の水脈にも恵まれた湧き水の里です。

皆さんは心配になることはありませんか？

座間の水、枯れてしまう事はないのかと！

水は自然の恵み 授かりもの

祈りの水 神の水

湧き水は森を育み田畑を潤す 繁栄の水

湧き水は生きとし生ける 命の水

座間の湧き水

疫病から民を救った言い伝え

異彩を放つ弁財天 魂(たましい)宿る太刀(たち)誕生秘話の言い伝え

長き年月(としつき)水の里

語り繋いだは数多(あまた)の伝説

総ては喜びの水 感謝の水に恵まれた里の証し

目に見えぬ地中の営み 時を重ねた水の旅

湧き水は 太古の堆積(たいせき)

地層のミネラル蓄えた

地球からの贈り物

座間の水 守るは私たち

繋ぐ水 百年 千年 万年先の子孫へと

守り通すは今を生きる私たち

第7章 「相武台とキャンプ座間」

〈相武台〉

その日は突然やって来た

昭和12年9月30日、座間村に陸軍士官学校が開校する。

座間村の地を踏む陸軍士官候補生千二百名

沿道は歓呼の日の丸 花火も上がる

村人総出(そうで)の出迎え大歓迎

元はいちめん桑畑 今は戦時支える練兵場

軍馬の訓練 実践しながら戦車の演習

景色は一変 軍国の村

昭和12年12月20日、陸軍士官学校第1回卒業式が挙行される。

怒濤の訓練八十余日(よにち)

天皇陛下の御臨幸(ごりんこう)仰いで初の卒業生を送り出す

この日より陸軍士官学校

天皇陛下よりじき授かる新たな名前「相武台」

青春 若きますらお

時代が生んだ巡り合わせ

心模様 村で出迎え戦場へ送り出した座間の民

〈キャンプ座間〉

この日も突然やって来た

昭和20年8月15日終戦。

この日を境(さかい)に陸軍士官学校は、在日アメリカ陸軍司令部・キャンプ座間となった。

昨日までは相武台

今日(きょう)からフェンスの内(うち)は

アメリカ合衆国・キャンプ座間

長閑(のどか)な里が軍国の村となり

今は背中合わせ 治外法権の街

見えるモノだけが見えていて

見えないモノは見えてはいけなかったのでしょうか？

令和3年10月2日。座間の街は、紆余曲折を乗り越えて築いて来たのは日米の親善でした。

どちらが内(うち)でどちらが外なのか
フェンスと暮らし続けた76年

心の交わり積み重ね

座間キャンプ

春は桜まつりで賑わい

夏はボンダンス 境(さかい)を越えた盆躍り

独立記念祭 夜空を彩(いろど)る花火大会

笑顔の交わり 今や座間の風物詩

フェンスの隔(へだ)たり乗り越えて 総ての人は地球人

座間に宿る息づかい 心かよわす現代史

新たなプロローグ　→エピソードに変えて

まぶしい夕陽　凜と佇(たたず)む大山

なんと美しく神々しいことか

束の間の時と自然が織りなす悠久なる美の世界

遙か「いさま」の時より阿夫利嶺(あふりね)　大山に見守られたる里・座間

我が故郷(ふるさと)　見えないモノが見える街

老いも若きも　女も男も

心　目　見えぬ富士を見るように

時に厳しく過酷な明日(あした)であっても

まだ見えぬ未来を見たくなる

座間に住まう私たち

見えぬモノに包まれた街だから

心　目　感じる目

見えぬ未来が見えて来る

まだ見えぬ未来を見たくなる

見えぬ未来が見えて来る

まだ見えぬ未来を見たくなる

【ダンス】

目をそむけてはいけない！　もがく事を恐れてはいけない！

例え難題溢れる未来であっても

明日(あした)の目覚めは…未知への期待

明日(あした)の微笑みは…未知への希望

古人(いにしえびと)の記憶は

未来人(みらいびと)の記憶
となるのだから

無限大に広がる想像力を
今こそ未来へ解き放せ！

【ダンス】

人は見たいモノしか見えて来ない

人は聞きたいモノしか聞こえて来ない

だから

目を閉じてごらん

耳を澄ませてごらん

だから

内なる心と向き合ってごらん

だから

外なる自然に心開いてごらん

やがて見えて来るから

やがて聞こえて来るから

明日(あした)の日本　まだ見えぬ世界の姿

水の惑星　地球の未来だって見えて来る！

遙か「いさま」の時より阿夫利嶺(あふりね)　大山に見守られたる里・座間

見えないモノが見える街・座間

沈む夕陽は昇る朝陽の始まり

我が故郷(ふるさと)よ

未来へ向かって歩み行(ゆ)け！